



2026年5月14日

各 位

会 社 名 田中精密工業株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 田中 英一郎
(コード：7218 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 執行役員 管理本部長 沖 健司
(TEL. 076-469-9107)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について現状分析を踏まえ、今後の方針及び主な取組みについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照ください。

以 上

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2026年5月14日

東証スタンダード市場
証券コード：7218

1. 現状分析

2. 持続的な企業価値向上に向けて

- 1 企業価値向上に向けた取組み
- 2 PBR向上の全体像
- 3 キャピタルアロケーション
- 4 株主還元施策

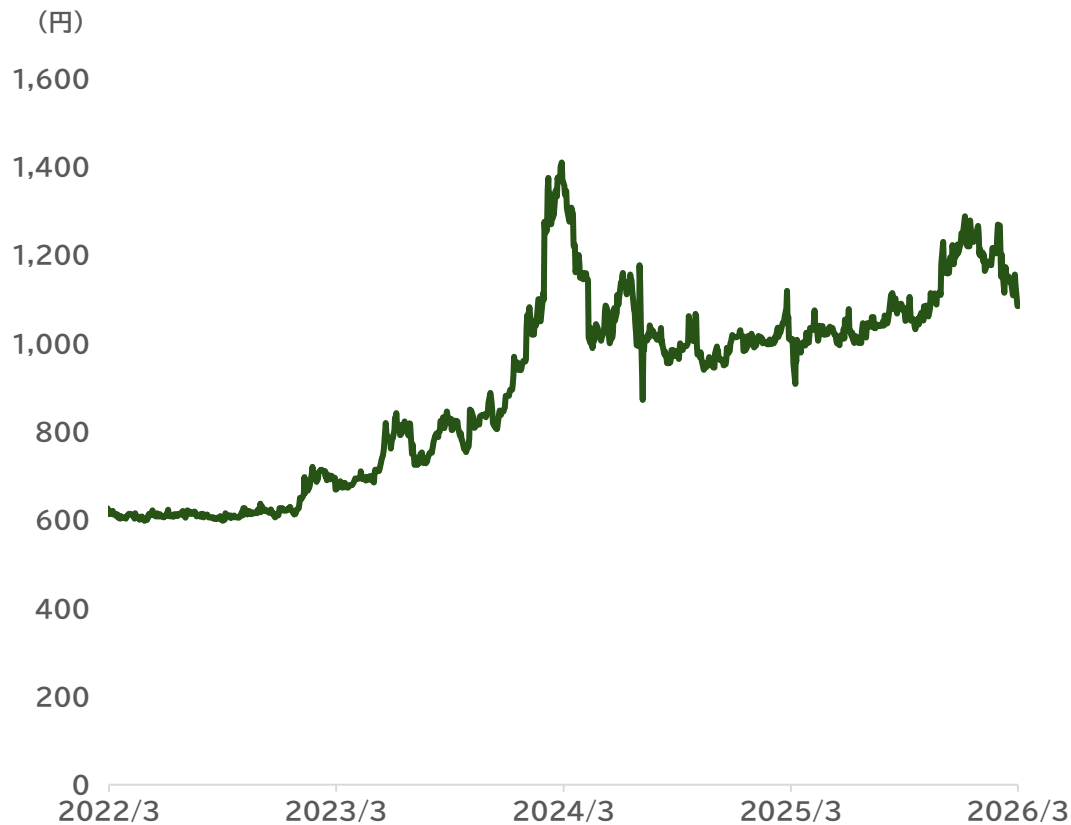
1. 現状分析

2. 持続的な企業価値向上に向けて

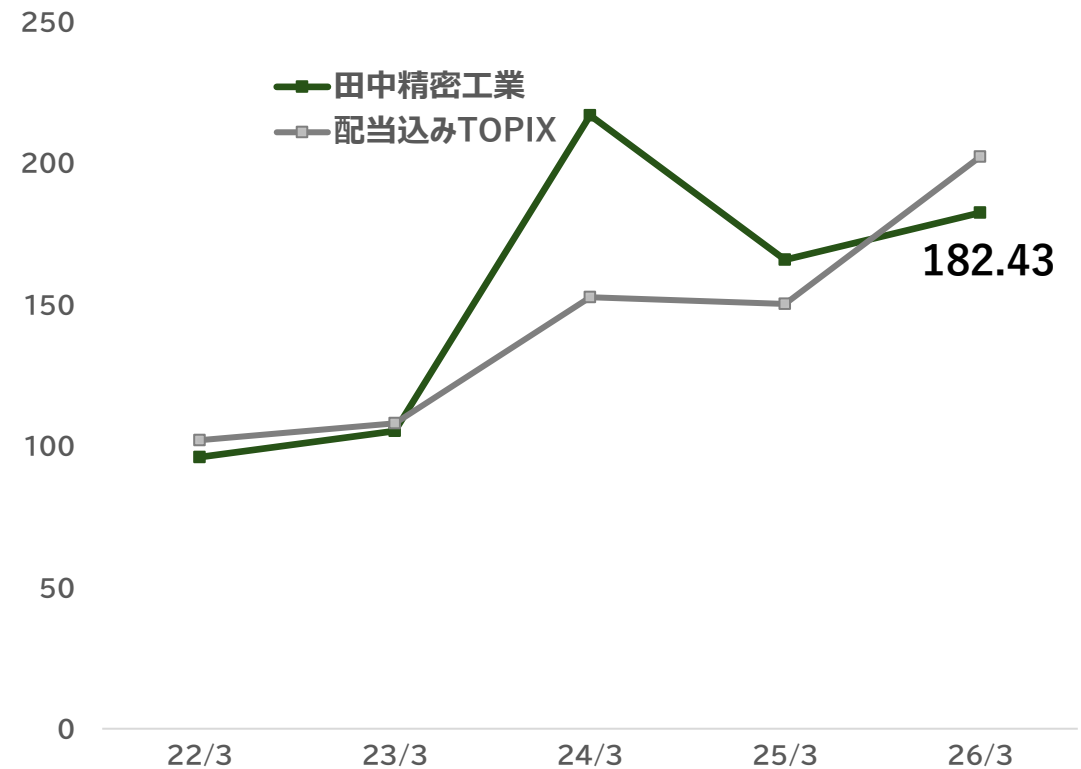
- 1 企業価値向上に向けた取組み
- 2 PBR向上の全体像
- 3 キャピタルアロケーション
- 4 株主還元施策

株価は上昇傾向にあるものの、直近ではTSRが市場平均を下回っている。

株価の推移



TSR(株主総利回り)の推移

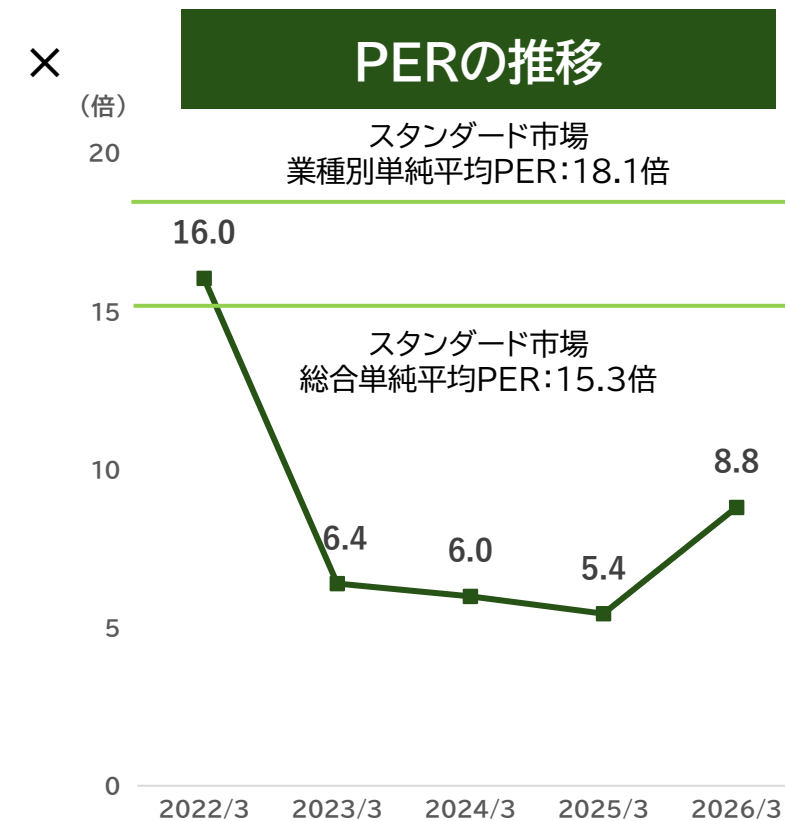
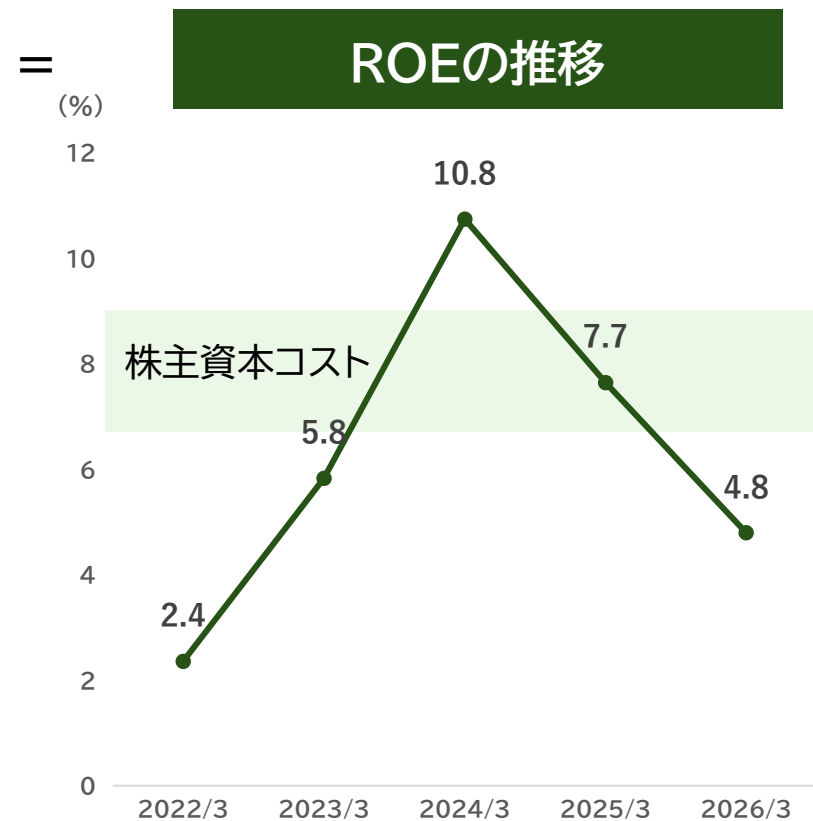


1. 現状分析

PBRは、1倍を下回って推移。

当社の株主資本コストは、CAPMから算出し7%~9%と認識。

ROEは株主資本コストを下回り、またPERも市場・業種平均に比べて低位にあり、収益性及び成長期待の双方に改善余地があると認識。



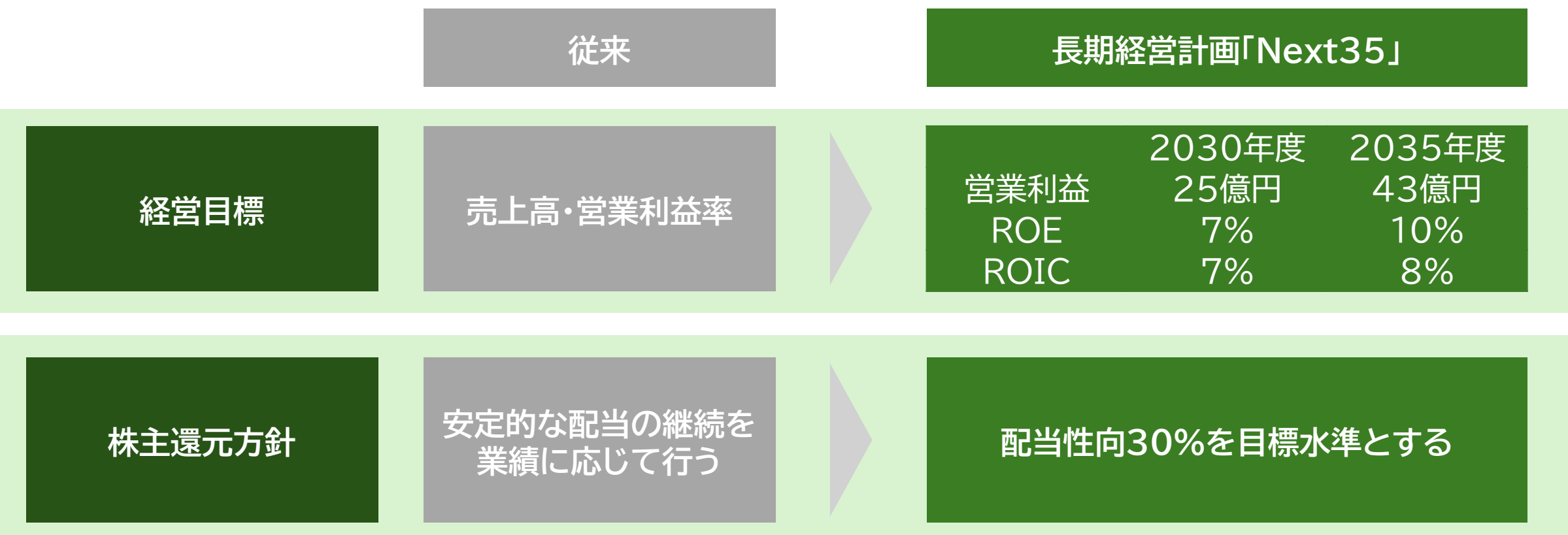
1. 現状分析

2. 持続的な企業価値向上に向けて

- 1 企業価値向上に向けた取組み
- 2 PBR向上の全体像
- 3 キャピタルアロケーション
- 4 株主還元施策

2-1. 企業価値向上に向けた取組み

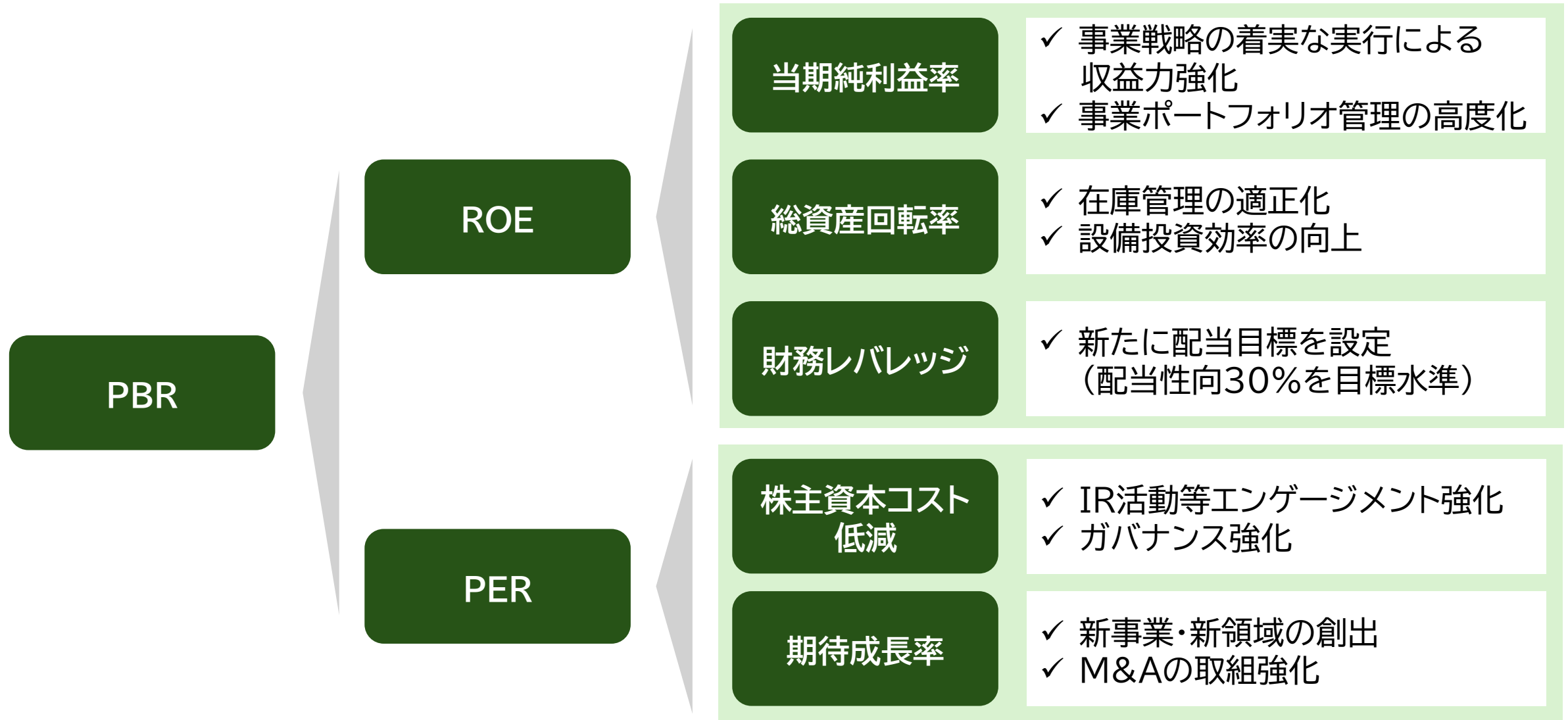
新たに長期経営計画「Next35」を策定し、ROE・ROICを経営目標として設定。
資本コストを上回るリターン創出を目指す。



長期経営計画「Next35」で掲げた施策を着実に実行し、収益性と成長性の両立を図る。ROICを管理指標として導入し、事業ポートフォリオ管理を高度化していく。

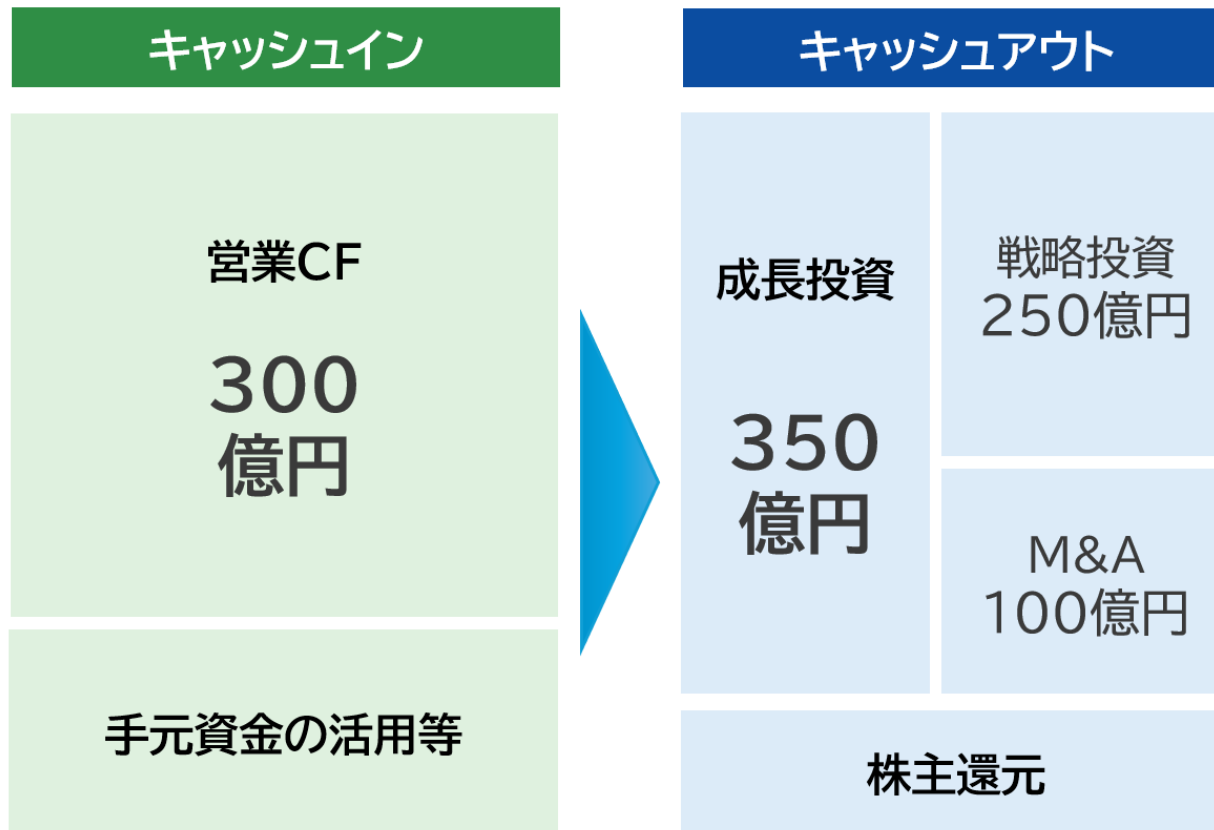
	取組方針
部品製造	社外パートナーとの共創スキーム強化で、事業収益モデル転換を加速
ソリューション	高付加価値と持続可能なビジネスモデルの構築
モビリティ	「車両販売」中心から、「ご利用期間全体」で価値を高めるプラットフォーム事業へ
新事業・新領域	既存事業をはじめ新価値創造に向けた新領域の開拓や、積極的にM&Aを活用することで、2035年度に営業利益の30%以上を確保
事業ポートフォリオ管理	ROICを導入し、全社に浸透を図り管理基盤を強化

各種取組みによりROE並びにPERを向上させ、持続的な企業価値向上を図る。



今後5年間は、長期的な企業価値向上を目指し成長投資を積極的に行う方針。

2026年度～2030年度のキャピタルアロケーション

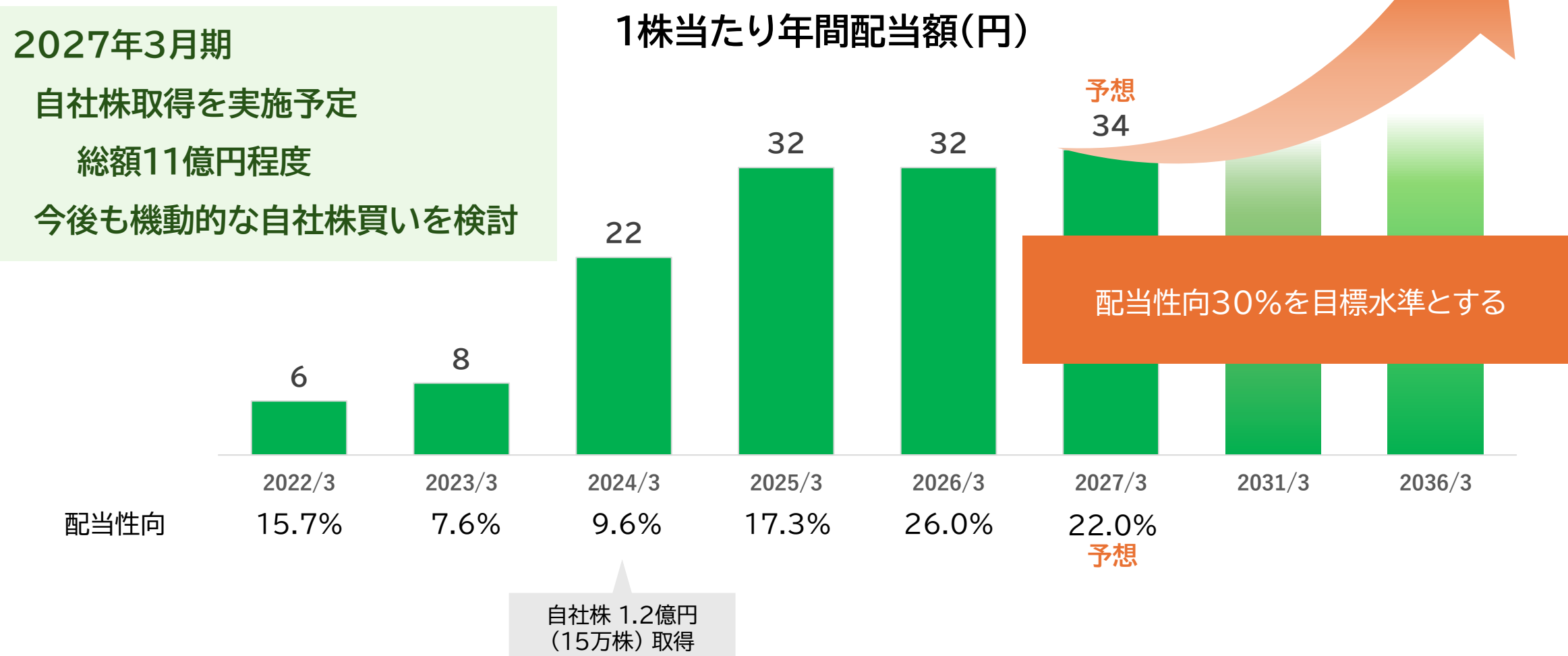


■ 成長投資

- 1) 戦略投資
ROIC向上に向けた成長戦略の構築及び実行に向けた投資
- 2) M&A
新領域の開拓、新たな事業の柱作りなど事業ポートフォリオ変革に向けた投資

2-4. 株主還元施策

株主還元強化の観点から配当性向30%を目標水準とし、成長投資とのバランスを考慮しながら安定的かつ段階的な株主還元を実施する。



心が動く、未来を創る

—Next Solution, Next Smile.—

ロケット部品



AM部品



NEXT

高効率モータ



AM部品



T-gluech



生活支援

NEXT

AMR
D-PORTER



NEXT



NEXT

エンジン部品



注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。

お問い合わせ先

管理本部 経営企画部

URL: <https://www.tanasei.co.jp/contact/>



田中精密工業株式会社